

～斬新な作品、一同に会す～

市制50周年記念事業

第9回 日本現代陶彫展 2004

マケット展を開催

土・炎・造形

THE 9TH CONTEMPORARY CERAMIC ART 2004 TOKI, JAPAN

「日本現代陶彫展」って何？

日本現代陶彫展は、土と炎が創り出す「やきもの」と、三次元的な造形美の「彫刻」との融合、すなわち『陶彫』という新しいジャンルを、土岐市が日本全国はもとより世界へ発信すべく開催してきた展覧会で、今回で九回目を迎えました。

まず、マケット（縮尺模型作品）を全国公募して審査を行い（今回の審査は、六月二十九日に実施予定）、受賞作（陶彫展賞十点・マケット展賞十点）・入選作で構成するマケット展を開催します。さらに、陶彫展賞に選ばれた十人の作家には、一辺が1m以上・高さ3m以内・幅5m以内という巨大な作品を、市内の協力事業所で作成してもらいます。そして、完成した作品で再度審査を行い、大賞をはじめとする賞を決定し、本展（今回は、十一月二十八日から十二月十二日までセラテクノ土岐で開催）で展示され

ます。その後、市内各所に設置され（今回の作品は、東海環状自動車道・土岐南I・C付近および土岐プラズマ・リサーチパーク内に設置予定）、市民の皆さんの身近なところで観賞していただきます。土を素材とした「彫刻」に、「焼く（焼成）」という要素が加わるこの比類なき展覧会へ、ぜひお出かけください。

第九回日本現代陶彫展 2004

マケット展

会期

七月二日（金）～
十一日（日）

※午前九時～午後五時



前回大賞作品

茶室「暮雪庵」 織部の里公園に移築

松坂屋創業家・伊藤家ゆかりの茶室「暮雪庵」が、織部の里公園に移築されました。伊藤家からの寄贈と市内在住の大鹿香苗さんなどのご支援・ご協力によって実現したものです。

この茶室は、伊藤家の歴代当主が愛用した由緒ある茶室で、建築年代は江戸時代末期以前と推定されています。また、最近の調査で江戸時代中後期の久田流茶人・久田耕甫が命名したことが分かりました。

5月30日（日）には、移築完成を記念して「暮雪庵・織部茶会と元屋敷園遊会」が同公園で開催され、多くの方々に披露されました。この「暮雪庵」の移築によって、同公園は茶陶の歴史・文化の発信拠点として、県内外からますます注目されることでしょう。



◇
「暮雪庵」について詳しくは、文化振興課（内線 553）へどうぞ。

場所

セラトピア土岐・
美術ギャラリー

内容

陶彫展賞十点・マケット展賞十点・入選した作品を展示

入場料

無料

詳しくは、第九回日本現代陶彫展事務局（文化振興課・内線554）へどうぞ。